

宝木校区 人権協だより



小地域懇談会の様子（12月7日）

三本の矢による取り組み

会長 秋山 智博

人権啓発推進協議会は日常生活を豊かにし役立つようにと取り組んでいます。

そこで今年度の小地域懇談会は、「人権のヒント（地域編）」と「親愛なるあなたへ」というタイトルのビデオ上映を行い、視聴された方各々で人権について考えて頂きました。

二本のビデオ上映について、
・人の心をうつドラマだった
・とてもわかりやすく良かった
・今までの自分を反省した
等々、アンケートを見るかぎりに於いては、概ね好評を得ていたようです。

また、前年八月に鳥取市がつくった「本人通知制度」が、あまり知れ渡っていないので、そのピアールを行いました。

この制度は、私たちの住民票や戸籍謄本などが本人の知らないうちに勝手に取られていた事件を教訓として市民を守るためにつくられたものです。

本人・家族を人権侵害から防御するひとつですので活用しまし

よう。

人権確立には、「基本的人権の尊重」という普遍的原理の啓発と、身近にある個別の「人権侵害や課題」を積極的に解決する取り組みの両面でのアプローチが必要ですが、これに加えて、「人と人がふれあうこと」も大きな力です。この三本の矢で引き続き取り組みを展開します。

この他に、鳥取県が十月に全国初となる手話言語条例を制定し、普及などを行政の責務と位置付けたことは画期的なことです。国では最高裁が九月に婚外子相続差別を違憲とし、立法府が十二月に民法を改正し（百十三年ぶり）三権分立が機能しました。これらの取り組みを私たちの意識向上や生活に大いに生かしていこうではありませんか。

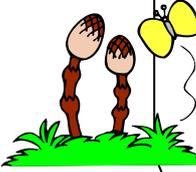
誰もが住みやすい地域は、人



が活き活きとし希望のある地域です。さらなる人権文化を築きあげていきましょう。

ふれあい交流会 3月2日（日） 酒津地区公民館にて

今年度のふれあい交流会は、人権啓発ビデオ「ほんとの空」を視聴していただき、踊り・コーラス・傘踊り・大正琴などの芸能発表や、グループに分かれてのゲーム大会。
昼食のカレーでお腹いっぱいになった後は、賞品を競ってのビンゴ大会などを行いました。
今年度は、総勢97名の方に参加していただきました。
ご協力ありがとうございました。



鈴の音サークルさんによる傘踊り



琴和会さんによる大正琴演奏



コーラス・ドレミさんによる合唱



すみれ会さんによる踊り

すみれ会は、二回参加させていただき、その度毎に不安と緊張感をいっぱい持ち、踊り終わった後に温かい拍手と激励の言葉を受け、会員一同頑張ってきたと喜びを感じます。
私は、「交流」ということばは好きです。人さまさま会話の中に入れば、得るもの多く、相手の一言を聞き「自分も気をつけなきゃいけない」と、これも得るものであり、仲間の一員となり自分を高めながら年を重ねて行ければと考えるこの頃です。

酒津「すみれ会」
原 登貴江

交流会に参加して



初めての試み、蝶ちょう釣り



昼食は美味しいカレーライス



グループ優勝をかけて、ジャンケンポン